



## 平成 29 年度実施事業「大学発ベンチャー事業シーズ育成支援プログラム」 (通称：学内ギャップファンド) の実施と採択案件について

この度、九州大学では、学内初の試みとして本年 4 月より、「大学発ベンチャー事業シーズ育成支援プログラム」(通称：学内ギャップファンド) を実施します。

学内ギャップファンドは、教職員の自己の研究成果に基づく大学発ベンチャーの創出を促進することを目的としています。起業に意欲的に取り組む本学の教職員を対象とし、申請された研究成果実用化の可能性が高い提案に対して、検証資金(200 万円/件)を提供するとともに、プログラム期間中は、九州大学学術研究・産学官連携本部(AiRIMaQ)がプログラム実施に係る相談に対応します。

また、プログラム期間終了後は、検証結果を踏まえ、外部有識者による評価を行い、その結果を採択者に対しフィードバックします。なお、本プログラムを通じ有望な事業シーズであると認められた場合は、別途、本学より起業へ向けた組織的な支援等を受けることができます。

今回、平成 29 年度実施事業として 10 件の事業シーズを採択しました(別紙参照)。平成 29 年 4 月から同年 10 月末まで事業化検証を行います。プログラム期間終了後は、各自の成果を発表する場を設ける予定です。

九州大学は、平成 28 年 4 月に学術研究・産学官連携本部内にベンチャー創出推進グループを創設し、学内ギャップファンドをコア事業として推進することにより、更なる九大発ベンチャーの創出を図って参ります。

### <学内ギャップファンドの概要>



### 【お問い合わせ】

学術研究・産学官連携本部 ベンチャー創出推進グループ

TEL : 092-832-2168 FAX : 092-832-2147

Mail : [startup@airimaq.kyushu-u.ac.jp](mailto:startup@airimaq.kyushu-u.ac.jp)

## ＜採択事業シーズ一覧＞

No.	所属	事業シーズの名称
	氏名(職名)	概略
1	理学研究院 化学部門	酒類や飲料からの選択的吸着脱硫技術
	徳永 信 (教授)	悪臭の原因物質のみを除去し、いつまでもフレッシュな日本酒に！ 酒類などの飲料において、悪臭の原因となる微量硫黄化合物 (DMTS) のみを選択的に取り除く技術。
2	グローバルイノベーションセンター アドバンスプロジェクト部門	新しい高付加価値を有するシリカガラス製品
	藤野 茂 (教授)	加工が難しい石英ガラスの用途に革命を起こします！ 常温で所望の成形加工が可能な革新的省エネルギーガラス製造技術。 通常ガラスでは実現不可能であった機能性向上、複雑成形も可能。
3	工学研究院 機械工学部門	ダブルパルスビームによる透明材料の光励起レーザー加工
	林 照剛 (准教授)	低エネルギーのレーザーで透明基盤の加工を可能にします！ 光吸収性の低い透明基板にも対応可能な可視光・近赤外光を用いた低照度ビームによるレーザー加工。
4	歯学研究院 口腔機能修復学講座	直感的なインターフェースを用いた歯科インプラント手術ナビゲーション
	大内田 理一 (助教)	施術者の負担を軽減し、より安全なインプラント手術を実現します！ より安全なインプラント手術を可能とする、ドリルの角度や3次元位置関係が直感的にわかる赤外線を用いたナビゲーション機器。
5	総合理工学研究院 エネルギー理工学部門	人と環境に安全無害な医療用高速低温酸素プラズマ滅菌器
	林 信哉 (准教授)	安全無害で安価な医療用滅菌器を開発し、医療費低減に貢献します！ 人体に有害な酸化エチレンガスや高濃度過酸化水素水を使わず、安全無害な酸素プラズマを用いた人と環境に優しい医療用低温滅菌器。
6	工学研究院 応用化学部門	白金使用量低減と高耐久化を実現する燃料電池電極触媒の高性能担持体
	藤ヶ谷 剛彦 (准教授)	燃料電池の低コスト・高寿命化を実現します！ 電極触媒の導電性担体に高分子を被覆して機能化することにより、燃料電池の低コスト・高耐久化を実現する。
7	工学研究院 機械工学部門	毎日使いたい・カセンサー体型ウェアラブル血流計
	野上 大史 (助教)	日常生活で正確に測定できる血流計で、健康生活を応援します！ 心拍数やストレス計測に加えて血流を測定することにより、病気の診断や脱水症状の予防等に貢献する血流計の開発。
8	工学研究院 機械工学部門	電界誘起による針なし気泡注射器
	山西 陽子 (教授)	痛みを感じない理想の針なし注射器を開発します！ 電界誘起によって気泡を高速で発射させ、その気泡が圧壊することによる衝撃で、気泡界面に付着した試薬が導入される注射器。
9	芸術工学研究院 コンテンツ・クリエイティブデザイン部門	人の心を動かす話し方が身につくバーチャル・リアリティ (VR) 教材
	冬野 美晴 (助教)	日本人のプレゼン力を鍛え、世界で活躍する人材育成に貢献します！ VRにより、ユーザがリアルタイムで適切なアイコンタクトや話速度を体感しながらスピーチ練習できる革新的な学習システム。
10	工学研究院 応用化学部門	九大カイクバイオリソースで生産する人工細胞接着因子融合タンパク質
	神谷 典穂 (教授)	カイクを使って再生医療分野のコスト低減に貢献します！ 九大オリジナルカイクを使った、再生医療分野で利用可能な、高機能・ゼノフリーな細胞培養用人工設計タンパク質の生産。